

次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

「お昼の休み時間は、グラウンドに出て遊びましょう」

教師や学級委員がそう言うたびに、私はいつも心の中で疑問に思っていた。

（だって、休み時間なんだから、基本何をしてもいいんじゃないの？教室で静かにひとりて本を読んでいたっていいんじゃないの？）

でもそうはならない。みんなでミニサッカー、みんなでドッジボール、みんなで鬼ごっこ・・・参加しないと、その後でまるでこのクラスの一員ではないかのような冷たい視線を浴びることになるのだ。

だいたい、お昼の休み時間にまでみんなで同じ行動をすること自体に、疑問を持っている人はこのクラスにはきつといないのだろう・・・いや、私を含めて三人くらいは、いるのだろうか。

しかし、それに対して反対意見を口に出す人はひとりもない、無論私自身も含めて。だって反対意見を言うこと自体が、すでに外れていることを示すことになるのだから。

そう、どこまでも合わせないといけないのだ。みんなに。

教師や生徒の多くは授業時間はもちろんのこと、休み時間でもみんなで動かないと気が済まないのだろうか。

それは集団に合わすという日本人が得意だとされることに慣れてしまっている大多数の人に
とっては、なんの苦にもならないことなのだ。

いや、もっと言うとなんかことだとさえ言える。・こうした筆者の過去の体験談も具体例である。

もちろん、みんなでの団体行動すべてに反対しているわけではない。

学校でのみんなだまどまって行動をするような運動会の練習や、列を乱さないで歩く遠足、勉強の進度が遅い子も早い子も等しく受ける授業というのは、その後の社会に出た時に必要となる協調性などのスキルと関係はあるだろう。つまり

ア

は、そのための訓練なのだ。

大人になった今、私が子ども頃の状況と比べると少しは変化があるように思う。

多様性、個人の考え方などを重んじる方向性が盛んに叫ばれるようになり、それが世の中に急速に定着してきた感がある。・世の中がだんだん団体から個人に変わってきたと述べている。

たとえば、中学・高校の部活でも団体スポーツよりも陸上や卓球のような個人スポーツの方に人気がシフトして行っているのは、時代の変化なのかもしれない。

それでも私は、たまに息苦しさを感じる。会社が終わった後の食事会に参加して社員みんなでビールで乾杯するよりも、早く家に帰ってカップ麺を片手に推しのアイドルの新着動画をチェックしたいのだ。・でもやはり団体での行動は残っており、それが筆者には息苦しいという主張。

そうは思っても結局は食事会に参加する。ビールは飲めないのでもうロン茶で。

（編井 一樹「いびつな真珠を上手く弾く」より）

問一 次の選択肢のうち、本文と合っているものはどれか。

1 筆者はみんなでのグラウンド遊びには参加しない人だった。

◎2 筆者はビールが飲めない。・本文に明確に書いてあるのはこの選択肢のみ。

3 筆者は運動会には出ていない。

4 筆者は陸上部か卓球部に入っていた。

問二 ア に入る言葉を、本文中から5文字以内で抜き出して答えなさい。

・直前の「つまり」に注目。つまり「前の具体的なこと」「みんなでまとまって行動をするような運動会の練習や、列を乱さないで歩く遠足」などを、つまり「その後で抽象化している。そうすると、ここに入るのは集団や団体での行動だということがわかる。本文にあるのは、3行前の「団体行動」である。

団	体	行	動
---	---	---	---

問三 この文章で筆者の主張は次の選択肢のうちどれか。

1 お昼休みにまでグラウンドでみんなで遊ぶことをなかば強制するかのような昔の教師たちのやり方は間違っており、現在の学校教育では各個人がもっと自由に休み時間を過ごせるようになっていって欲しい。・本文にだいたい合っているが、具体例であり筆者の主張ではない。

2 中学や高校での部活も団体スポーツから個人スポーツの方に人気が移っているため、今後卓球や陸上のような個人スポーツが盛んになっていくのは、良いことだと思う。

・スポーツ部活の話もなくまで具体例であり、筆者の主張とは言えない。

3 学校での運動会の練習や列を乱さないで歩く遠足などは、その後には大人になってから社会で生きていくための訓練であり、個人の時代と言われるようになってはきたが、今後もし訓練は必要である。・この選択肢は筆者の主張と内容が逆であり不正解。

◎4 この国は、みんなと一緒に行動することに慣れている国であり、それには良いこともいろいろとあるのだが、個人で行動したいと思う人にとっては、時には心に重苦しいような感じがしてしまう。・本文とは多少言い換えてあるが、この選択肢が正解。

5 仕事が終わった後にまでみんなで行動する食事があり、さらにはビールで乾杯などという一昔前と同じことをやっている会社の古い体質は、現在の変化しつつ社会に合っていないので、退職代行を使って早くやめようと思っている。・本文を勝手に深読みしたり解釈したりして、このような選択肢を選ばないようにしたい。